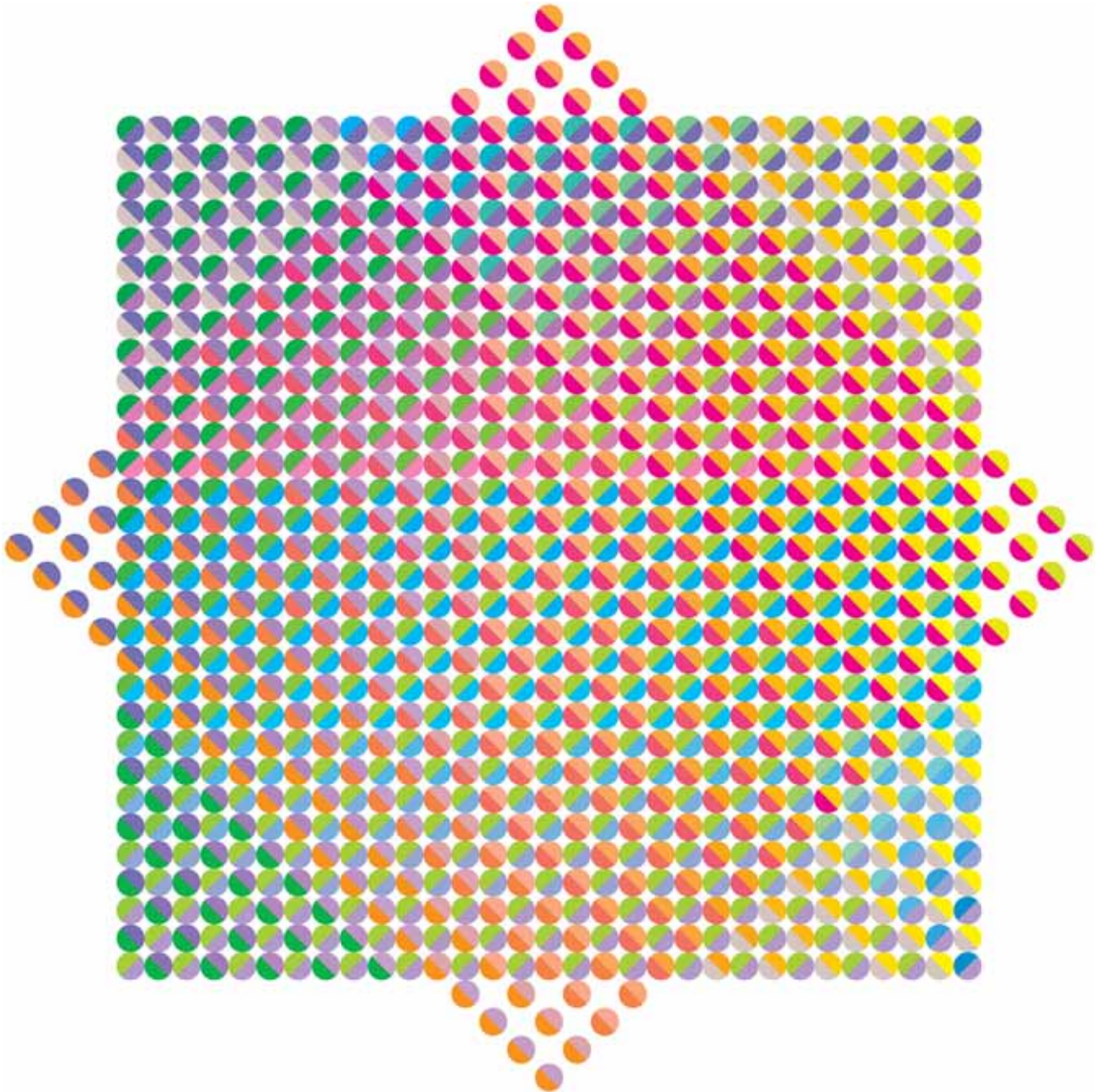


名古屋 文化情報

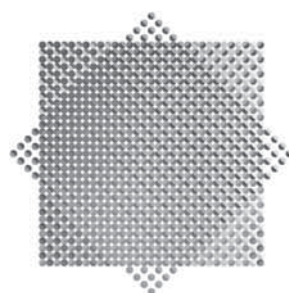
2011
8
Aug.

No. 329
NAGOYA
Cultural
Information



Contents

八月のうた	2
随想 一尾直樹 (映画監督)	3
視点 名古屋都心で現代建築の魅力を発見! まとめ/田中由紀子	4
この人と・・・ 中田直宏さん (上) 聞き手/小沢優子	6
ピックアップ	8
おしらせ	9



表紙

作品

「GRADATION FIELD 2」

(2011年)

ドットが集積の中に2つの正方形が重なり合い、その中にいくつかのグラデーションが混在することで、複雑な色彩の層を形成しています。視覚が翻弄され、錯覚を感じる世界を追求しています。

村田直哉 (むらた なおや)

1968年三重県生まれ

愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了

1996年第4回メキシコ国際ポスタービエンナーレ銀賞受賞

2003年名古屋市文化振興事業団芸術創造賞受賞

現在、名古屋造形大学准教授

八月のうた

全休符

大塚寅彦
おおつか とらひこ

ビックバン
誕生待つ卵ならむしろがねのプラネ
タリウム夏の陽に耀る

(名古屋市科学館)

夏空の風に乗せたし全休符のみ記したる五線紙の飛機

忘れなくさ藍みづみづし女と思へば
ひえだの あれ
〈稗田阿礼〉の響きさびしき

震災後、名古屋市科学館のリニューアル・オープンがあったが、故障もあって世界最大級のプラネタリウムのごときは余り話題にならなかった。しかし宙に浮かぶ球体という外観だけでも心誘うものがある。中で育まれた「宇宙」の種子がある日ビックバンを起こし、街に広がる空想を呼び起こす。

古事記成立に関わった稗田阿礼は今でいう「サヴァン症候群」か。ひたすら記憶に生きた若い女性(?)の話も想像力を刺激する。

(中部短歌会)

随想

映画『心中天使』のこと、これからのこと



いちお なおき
一尾直樹 (映画監督)

映画『心中天使』をプロデューサーとともに企画したのは、今から8年前、2003年のことだ。クランクインまでに6年かかり、今年やっと劇場公開することができた。この8年間、私にとっての『心中天使』という企画は、大げさにいえば生きる希望であり、悪くいえば一時もその痛みを忘れることができない「おでき」のようなものだった。だから一段落ついた今は、おできが取れたような清々しさと、目標を失ったような寂しさが同居するヘンな気分でご経過している。

改めて、監督としてクランクインから上映までを振り返ると、思い出されるのはこの映画がもたらしてくれた数々の喜びばかりである。

『心中天使』は全編名古屋・愛知で撮影した。いわゆる「ご当地映画」には程遠い内容の作品なのだが、名古屋の企業が出資を引き受けてくださり、撮影時にも公開時にも、地元の方々にあたたかいご支援をいただいた。私の出身地である三重県鈴鹿市では上映実行委員会が組織され、1回の上映ではあったが、会場の500席を超える方々が駆けつけてくださった。

地元のみならず関東・関西の映画館にも、たくさんの方々が足を運んでくださった。何より嬉しかったのは、かなりの人がツイッターやブログなどに感想を書いてくださったことだ。前作『溺れる人』を公開した2002年とくらべて、ネットの世界はさらに広がり、スピードアップ

している。たとえ厳しいものであれ、各地の観客からリアルタイムで反応をもらえるというのは素晴らしい体験だった。

しかし、残念ながら人は思い出だけでは生きられない。私はそろそろ次の希望を見いださなければならぬ。

数日前から、『極楽のおじさん(仮題)』という映画の編集を始めた。私がプロデュース・脚本・監督・編集を兼ねた超低予算の自主製作映画。昨年末に撮影したものだが、『心中天使』の上映活動に気を取られてなかなか編集作業に入れなかった。

キャストは『桃まつり』などの自主製作映画で活躍している京都の女優・牧野鏡子さん、名古屋の劇団『テラ・インコグニタ』の個性派俳優・渡辺真輔さん、そして劇作家・小説家の北村想さん。3人が名古屋市極楽の一軒家で出会うお話だ。

今年の秋を目処に完成させ、私自身初めての試みとして、まずYouTubeで公開しようと思っている。情報は私のツイッターなどで発信していく予定だ。そのことを考えると、ふたたび生きる気力が湧いてくる。

一尾直樹ツイッター

http://twitter.com/n_ichio

『心中天使』ウェブサイト

<http://shinchutenshi.com/>

名古屋都心で現代建築の魅力を発見！

通勤や買い物で、普段は足早に通り過ぎる繁華街の街並み。ふと足を止めてビルや店舗を見上げると、それらがほかの建物や街路樹と調和し、街の風景をつくりだしていることに気づく。そんな建築物には、あまり知られていないが有名建築家によるものも少なくない。今回は、名古屋の街の魅力を際立たせる現代建築をいくつか紹介していく。

(まとめ：田中由紀子)

世界中のヴィトンの先駆けが栄に

地下鉄栄駅3番出口すぐにあるルイ・ヴィトン名古屋は、ガラスの外壁が街を行き交う人々や四季の移ろいを映し出し、少し離れたところから見ると蜃気楼のように立っている。長方形の箱のような建物で、ガラス壁と内壁の間に1.2メートルの間隔をもつ二重の外壁が特徴。そのそれぞれにブランドイメージである市松模様がプリントされており、それらが干渉しあってできるモアレが見る位置によって変化することに驚かされる。夜にはライトアップされ、昼間とは違った印象に。

2003年に愛知まちなみ建築賞を受賞したこの建物は、青森県立美術館を設計したことで知られる建築家、青木淳によるもの。市松模様のモアレ調の外壁は、その後世界中の店舗に採用され、青木は名古屋に引き続き02年にはルイ・ヴィトン表参道、05年にはルイ・ヴィトン香港ランドマー



ルイ・ヴィトン名古屋 外観

クを手がけた。鏡面仕上げのアルミ板をねじって外壁に敷き詰め、そのねじれの変化によってモアレ調の市松模様がつくりだされるルイ・ヴィトンナゴヤミッドランドスクエア店は、青木淳建築計画事務所を経て独立した永石貴義によるもの。同じ街にある師弟による作品を、見比べてみるのもおもしろい。



ルイ・ヴィトン名古屋のガラス壁

斬新さと環境性能を兼ね備えた次世代型ビル

丸栄のすぐ南に昨年2月にオープンし、東海エリア初出店となる老舗おかき店の無料試食カフェやソニーブラ

ンドショップの出店で話題となったセントライズ栄。地上12階・地下2階からなるオフィスと店舗の複合施設で、店舗が入る1・2階はガラス張りの開放的な空間となっている。オフィスエリアの3階からは、ガラスの外側を自動制御のブラインドで覆うことにより、空調効率の向上を図っている。また、敷地内の植栽や雨水の再利用、壁面・屋上の緑化などの環境対策を積極的に導入し、名古屋市建築物環境配慮制度（CASBEE名古屋）最高位のSランクを取得している。



セントライズ栄 外観

設計を担当したのは、安藤忠雄建築研究所と三菱地所設計。香川県直島の地中美術館や李禹煥美術館の設計でも知られる安藤忠雄は、1979年に「住吉の長屋」で建築学会賞を受賞。アルヴァ・アアルト賞、プリツカー賞など数多くの受賞歴を持つ、日本を代表する建築家の一人だ。

都会の真ん中にある癒しの日本庭園

人通りが激しい大津通沿いにありながら、都会の喧騒を忘れさせてくれる一角が名古屋クロイゾンスクエアだ。大津通と2か所で接する細い路地を入ったコの字型の敷地に、日本庭園を囲むように安藤七宝店と海外ブティック、レストランカフェが配置されている。植栽や灯籠が整然と配された日本庭園は、容積率101パーセントと低層に抑えられた商業施設ともしっかりと調和し、ビルが立ち並ぶ



名古屋クロイゾンスクエアの日本庭園

繁華街とは思えないほど静かで落ち着ける空間をつくりだしている。1880年（明治13年）創業の安藤七宝店の蔵を改装したギャラリー、七寶蔵部（有料、店舗利用の場合は無料）と、そこで展示される貴重な七宝も必見。竹中工務店設計によるこの施設は、03年に愛知まちなみ建築賞を受賞している。敷地内の商業施設を利用するついでに、ぜひ立ち寄ってみてはいかがだろう。

遊び心満載のユニークなロケットにビックリ

丸の内周辺で道ゆく人々の意表をつくのが、地下鉄丸の内駅1番出口すぐにある東建コーポレーション丸の内ビル。最上部がとがったシンメトリーの地上15階・地下2階建のビルで、伏見通から見たときのロケットのような形に思わず目を奪われること間違いなし。屋上から庇のようにせり



東建コーポレーション丸の内ビル 外観
出したヘリポートがちょっと不安定な印象なのも、ユニークさをさらに際立たせている。

この建物は、愛知県海部郡蟹江町出身で世界的に活躍した建築家の黒川紀章によるもので、彼は生前、東建コーポレーションの建築技術顧問を務めていた。国立新美術館や名古屋市美術館、豊田スタジアムなど黒川が手がけた作品は数多く存在するが、そのなかでも一段と遊び心が感じられる建物だ。

開放的なフラワーショップ兼ギャラリー

都心からは少し離れるが、展示空間や外観そのものがアートなギャラリーを紹介したい。名古屋高速2号東山線が通る鏡池通に面して立つ、千種区のフローリスト・ギャラリーNは、1階のフラワーショップとギャラリー、2・3階の住居スペースがわずかに約44平方メートルに収まった建物。真っ白いコンクリート造りの外観は一見直方体のようだが、左右の壁が屏風を立てたように折れ曲がった構造になっているのが特徴。これは構造的な強度を高めるのと同時に、刻々と変化する外光によって建物に表情を与えるというねらいからであり、1・2階の天井も同様に折れ曲がっている。敷地内には鉄板を折り曲げただけの小さな和室があり、展示スペースにも使われている。



フローリスト・ギャラリーN 外観

1階の南北面のすべてが開口部となっているため、南に面する大通りや北隣の小学校に対して開かれた印象があり、小学校の子供たちが下校時に立ち寄ることもしばしばあるという。

この建物を設計した谷尻誠は、1974年生まれの手塚建築家。住宅や商業施設の設計から環境デザイン、プロダクトまで広範囲に活動しており、この作品で10年に愛知まちなみ建築賞を受賞している。

スタイリッシュな集合住宅にあるギャラリー

地下鉄本郷駅から北へ徒歩7分にある、名東区のLギャラリー、F-1が入居するアパートメントLiF（ライフ）は、6階建の集合住宅。LiFという名称は、1フロアがアルファベットのLとi、Fの形をなす、異なる間取りの3種類の住戸から構成されていることに由来する。Lギャラリー、F-1の間取りはFタイプ。コンクリート打ちっぱなしの内壁に作品が展示されたギャラリーは、そのスタイリッシュな空間も見どころの一つ。コンクリートの外壁に各住戸の扉の鮮やかなイタリアンレッドと、ベランダに配されたFRPグレーチング（強化プラスチックを格子状に組んだ溝蓋）の薄いグリーンが調和し、おしゃれで洗練された印象だ。



アパートメントLiF 外観

設計者の一人、鈴木恂は早稲田大学教授を務めた建築家で、大学や公共建築から商業施設、個人住宅まで幅広く手がけ、著書も多い。ギャラリー以外は一般住戸なので内部を見ることはできないが、展示を見るだけでなく、ロビーや外観もじっくり見たい。

名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」に点在する明治から昭和初期の近代建築は、観光名所としてもここ数年人気が高まっているが、まちなかにある現代建築に目を留めることはあまりないだろう。しかし、あらためてじっくり眺めてみると、興味深い建物が少なくない。建築物の魅力を発見することにより、いつもの街が違って見えてくるかもしれない。

■建築データ

ルイ・ヴィトン名古屋 設計：青木淳/青木淳建築計画事務所 竣工：1999年 所在地：名古屋市中区錦3-16-17	セントライズ栄 設計：安藤忠雄建築研究所、三菱地所設計 竣工：2010年 所在地：名古屋市中区栄3-3-21
名古屋クロイソンスクエア 設計：竹中工務店東京支社 竣工：2002年 所在地：名古屋市中区栄3-27-17	東建コーポレーション丸の内ビル 設計：監理：黒川紀章/黒川紀章建築都市設計事務所 竣工：2004年 所在地：名古屋市中区丸の内2-1-33
フローリスト・ギャラリーN 設計：谷尻誠/suppose design office 竣工：2008年 所在地：名古屋市中区鏡池通3-5-1	アパートメントLiF 設計：鈴木恂+AMS、内木博喜、高柳英高 竣工：2004年 所在地：名古屋市中区本郷1-4-3

この人と...



作曲家・愛知教育大学名誉教授

なか た なお ひろ

中田 直宏さん 上

作曲家として、教育者として

名古屋二期会の会長を務めてきた中田直宏さんは、佐川吉男音楽賞奨励賞を受賞したオペラ《なよ竹の輝夜》などの代表作で知られる作曲家。また、愛知県立芸術大学、愛知教育大学、椋山女学園大学で長年教鞭を執られてきた教育者でもある。現在、愛知教育大学名誉教授。大学の多忙な職務をこなしながらたゆまず創作を続けてきた中田さんにこれまでの歩みをうかがった。(聞き手：小沢優子)

マンドリンとピアノを学ぶ

中田さんは1939（昭和14）年、名古屋市に生まれた。幼い頃から音楽が好きで、年の離れた姉が通うギターや箏のお稽古と一緒に付いていき、長時間の箏の発表会でもずっと聴き入っていた。小学校に入ると、ギターは小さな子どもには無理だったので代わりにマンドリンを与えられ、姉とともにギター・マンドリン界の重鎮で作曲家の中野二郎先生の門下生になった。実はあまり気の乗らなかったマンドリンだったが、NHK名古屋放送局の番組にも何回か出演し演奏している。やがて中野先生にピアノをすすめられ、ピアニストであったご子息の雅之氏に教えてもらうことになった。

マンドリンを演奏(CKスタジオ録音)
小学3年生

中学は南山中学。実力試験ではいつもトップクラスだったのが、3年生のある時300人中27番に下がり、親が呼び出されてしまった。ところが母親は、「なぜ怒られるのでしょうか、27番ならほめてやりたいです」と中学側の叱責には動じず、その頃知り合いの声楽家から聞いた菊里高校音楽科へ進むようにと伝えてくれた。母親の後押しを受けて、腕試しに菊里高校をピアノで受験。合格した。



大学1年の春 東京駅で中野二郎先生と

菊里高校から芸大作曲科へ

高校に入学し、東京藝術大学（芸大）の伊達純先生のもとに月1回のピアノのレッスンに通ったが、芸大のピアノ科は無理かもしれないということで、菊里の先生からは他の科で芸大を目指してほしいと期待をかけられた。声楽科はどうか、楽理科はどうか、作曲科はどうか…。芸大受験生のための巡回指導で菊里を訪れていた音楽学者の服部幸三先生からは、「楽理科を志望してほしい」と言われ気持ちは動いたが、授業用に我流で女声合唱曲を書いており、作曲の世界にはすでに足を踏み入れている。そこで、服部先生から『作曲法教程』などの著書で

も有名な、作曲家の長谷川良夫先生を紹介していただき、能力や適性のテストを受けることになった。音感もピアノも大丈夫だと認められ、自作の合唱曲も気に入って下さった。芸大の卒業パーティーにて長谷川良夫先生(左)とおそろおそろき



芸大の卒業パーティーにて長谷川良夫先生(左)とおそろおそろき(中央は下総皖一先生)

てみた。「見込みはあるでしょうか? だめなら言うてほしいのですが…できるなら浪人はしたくありません」。すると突然、長谷川先生は大声で怒りだした。「作曲は一生の仕事だ! 何と甘い考えなんだ、浪人がいやだなんてとんでもない! …君は作曲をやるんだ!!」。道は決まった。

1958(昭和33)年に芸大作曲科に入学し、4年後に卒業。卒業作品の《ヴァイオリン・ソナタ》は高く評価され、黛敏郎氏の作品に続き、「日本の現代作品シリーズ」として音楽之友社から楽譜が出版されている。

「中学で成績が落ちて母親が呼び出されなかったらおそらく音楽の道には進まなかっただろうし、服部先生がいらっしゃらなかったら長谷川先生との出会いはなく、作曲家にはならなかったでしょうね」と、中田さんはいくつかの転機を振り返る。

大学で教える

芸大を卒業してすぐ、3年間の約束で福岡教育大学で作曲とピアノを教えることになった。大学の授業のほか、NHK福岡放送管弦楽団のピアニストとして仕事をし、



愛知県立芸術大学でのレッスン風景(1969年) 藤掛廣幸氏(左)と堀田秀雄氏(右)

リサイタルをおこなうなど、しばらくはピアノに専念する日々が続いた。3年がたち、当時自宅のあった東京にはすぐに大学のポストはなく、ちょうど設立されたばかりの愛知県立芸術大学の教官

になった。指導した学生たちの中からはすぐれた作曲家が育っている。日本音楽コンクールの作曲部門で2位に入賞した平光保氏は1期生、エリザベート王妃国際音楽コンクールの作曲部門で日本人で初めてグランプリを獲得した藤掛廣幸氏、名古屋芸術大学の音楽学部長となっている堀田秀雄氏はともに2期生で、中田さんの教え子である。

留学、ジョリヴェに感銘

1968(昭和43)年からの1年間は、愛知県在外研究員としてドイツのミュンヘン音楽大学に留学している。

忘れられないのは、最後の3ヶ月に訪れたパイロイトとパリでの体験である。

パイロイトではワーグナーのオペラを上演する祝祭劇場のオーケストラ・ボックスに入りたいと思い、人を介して劇場支配人に頼んだ。希望はかない、まだ30代だった指揮者のロリン・マゼールの許可を得て第1ヴァイオリンの横に椅子と譜面台を置き、ワーグナーの大作《ニーベルングの指輪》の4日間の上演を経験した。マゼールはほとんど暗譜で指揮していたという。同行していた先輩の若杉弘氏には「ステージを見ないなんてもったいない」と言われたが、「オペラの暗譜でもやればできるんだな」と深く感じ入った。



留学時代 パリにて(1968年)

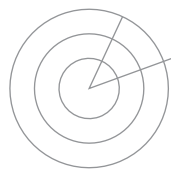
パリのコンサルヴァトワールでは、20世紀のフランスを代表する作曲家アンドレ・ジョリヴェに師事。個人レッスンと、10人ぐらいの受講生を対象とした講義を受けている。ジョリヴェの才能、民族音楽や楽器など広範囲に渡る知識には心から敬服し、今でも中野二郎先生、長谷川良夫先生とともにジョリヴェの名前を自分の師として掲げている。ジョリヴェは後に来日。名古屋にも招くことができ、愛知県立芸術大学で特別講演をお願いした。その折、名古屋城を見たいというので案内すると、日本の歴史について詳しく質問。こちらがたじろぐほどの博識ぶりだったという。

ちなみに、ジョリヴェには長谷川良夫先生も並々ならぬ関心と好奇心を寄せられた。中田さんが留学中に《オーケストラのための4章》(外山雄三氏指揮の東京交響楽団によって初演)を書き上げてすぐジョリヴェに見せたところ、「ここがなかなか良い…、この管楽器の使い方も良い…」と作品を批評してくれた。その時のことを長谷川先生は知りたがり、「ジョリヴェはそこで何と言った、どう言った」と熱心にたずねられたのも感慨深い思い出である。

愛知教育大学へ

愛知県立芸術大学に15年ほど勤めた後は、愛知教育大学へ移る。大学院が設置されることになり、作曲だけでなくピアノや指揮の指導もできる中田さんが必要とされたのである。定年まで勤め、退官後は教育学部が新設された椋山女学園大学に客員教授として招かれ、今年の春までその職にあった。50年近くに渡る大学の教員生活。その間、中田さんは指揮、作曲と幅広い活動をおこない、その活躍の地はロシアにも及んでいる。(次号に続く)

ピックアップ



平成22年度地域伝統文化総合活性化事業 伝統文化デジタル・アーカイブ～尾張名古屋の伝統文化 記録映像～

この映像は冒頭に「この記録映像は文化庁から委託を受けて制作するものです。尾張名古屋地域に伝わる伝統文化を映像に記録して鑑賞する機会を広く提供することでこの地域の伝統文化の伝承・普及・活用に役立てることを目的としています」と流れる。文化庁の呼びかけに対して名古屋市文化振興事業団が申請し、採択されて作られた。監修は安田文吉氏（南山大学教授）と、虫鹿竹雄氏（名古屋邦楽協会常任理事）。2枚作られ、各20分程度である。

記録映像のタイトルと、協力者を挙げると、Disk1が『からくり人形山車』[解説/九代 玉屋庄兵衛（尾陽木偶師）、永田哲也（名古屋曳絆会会長）]と『名古屋甚句』[出演/正調名古屋甚句を拓める会、正調名古屋甚句保存会 解説/安田徳子（岐阜聖徳学園大学教授）]の2点。Disc2が『都々逸』[出演/華房真子、華房小真 解説/安田文吉]、『尾張万歳』[出演/尾張万歳保存会 解説/北川幸太郎（尾張万歳保存会会長）]、『木遣り音頭』[出演/平針木遣り音頭保存会 解説/村瀬 進（平針木遣り音頭保存会代表）]、『平曲』[出演/検校 今井 勉（平曲〔平家琵琶〕） 解説/安田文吉]の4点となる。

安田氏からは、記録映像制作のコンセプトについて、「虫鹿氏と相談して、名古屋市内に現在まで伝わる無形の文化財（芸能）を対象とし、小中学生にも

わかりやすい内容にするべく作成した」と伺った。6種を選んだ理由について、『『からくり人形山車』は、尾張・名古屋が質・量ともに日本一であり、からくりを操る技術・能の囃子を取り入れた山車囃子も特徴的であること。『名古屋甚句』は、甚句は全国にあるが、詞章に名古屋の名所や伝承が詠まれており、『名古屋甚句』とともに唄われる『名古屋名物』は『おてもやん』と同じ節で、俗曲調であることがおもしろい。『都々逸』は、熱田の神戸節から出た熱田発の唄。また、『尾張万歳』は名古屋の長母寺の無住国師が農民に仏教を広めるときの形として教えたという伝承があり、屋敷などで行われる御殿万歳、町での門付け万歳両方の形式を伝承していることによる。『木遣り音頭』は本来は重い木を運ぶ時の仕事唄、素朴な唄の形を残しているが、子どもに伝承させているのが良い。『平曲』は近世の前田検校九一、荻野検校知一、吉沢検校審一以来、現在の今井勉検校まで、名古屋が支えてきたと言えるので取り上げた」とのことだった。安田氏は、「名古屋は町人の実力が非常に高かった。それが芸どころをつくった」と言われる。そういう町人が支え、伝承してきた芸能が収められている。このDVDは名古屋市内の小中学校をはじめ、図書館や文化施設などに配布されているので、ぜひご覧いただきたい。(1)



『名古屋甚句』



『平曲』



安田文吉氏

平成23年度 市民半額鑑賞会(下期)

中日劇場、御園座の10月・11月・12月の公演が、通常料金の半額でご覧いただけます。

◆申込方法

往復ハガキに下記の内容を必ずご記入のうえ、**8月12日(金)《必着》**までにお送りください。
 〈往信(裏面)〉

- 1.希望公演番号(1枚1公演・同一番号の複数申込不可)
- 2.人数(2人まで)、3.〒住所、4.氏名(ふりがな)
- 5.電話番号、6.車イス席希望の有無

〈返信(表面)〉
 ご自分の住所、氏名(宛先) ※氏名には「様」をお付けください。

◆問合せ・申込先

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号
 名古屋市文化振興事業団「半額鑑賞会」係
 TEL(052)249-9387 FAX(052)249-9386

◆主催

(公財)名古屋市文化振興事業団、名古屋市
 (社)日本演劇興行協会、中日劇場、御園座

◆往復ハガキの記入例

往信(表面)	返信(裏面)	返信(表面)	往信(裏面)
<p>50円 往信 名古屋市文化振興事業団 「半額鑑賞会」係 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号</p>	<p>記入しない (抽選結果を印刷します)</p>	<p>50円 返信 〒自分の住所 氏名 様</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.希望公演番号 (○数字の番号を1つ) 2.人数(2人まで) 3.〒住所 4.氏名(ふりがな) 5.電話番号 6.車イス席希望の有無

※応募結果につきましては、8月24日(水)以降、返信ハガキにて通知いたします。

【注意】

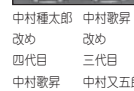
- チケット料金の他に、取扱手数料(1枚につき200円)と払込手数料、チケット郵送料が必要です。
- 車イス席をご希望のお客様は、必ずその旨をご記入ください。

◆公演内容

	演 目	公演番号	日 時	料金・定員
10月	加トちゃん一座 旗揚げ公演 【出演】加藤茶、井上順、浅茅陽子、 おりも政夫、小野ヤスシ ほか	①	10月11日(火)16:00	■A席(2階) 10,000円を 5,000円に 〈各250人〉
		②	10月12日(水)16:00	
		③	10月17日(月)16:00	
		④	10月20日(木)16:00	
11月	大奥 第一章 【出演】 松下由樹、木村多江、鷲尾真知子、 山口香緒里、近藤正臣 ほか	⑤	11月 9日(水)16:00	■A席(2階) 10,000円を 5,000円に 〈各250人〉
		⑥	11月14日(月)16:00	
		⑦	11月17日(木)16:00	
		⑧	11月22日(火)16:00	
12月	吉本爆笑公演 【出演】 池乃めだか ほか	⑨	12月 6日(火)16:00	■A席(2階) 6,000円を 3,000円に 〈各150人〉
		⑩	12月 7日(水)16:00	
		⑪	12月 8日(木)16:00	
		⑫	12月 9日(金)16:00	



	演 目	公演番号	日 時	料金・定員
10月	第四十七回 吉例顔見世 中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露 中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露 【出演】中村吉右衛門、市川團十郎、 坂東三津五郎、中村梅玉、中村福助 ほか	⑬	10月10日(月・祝)16:30	■1等席(2階) 20,000円を 10,000円に 〈各250人〉
		⑭	10月12日(水)11:00	
		⑮	10月14日(金)16:30	
11月	十一月 錦秋特別公演 一. 新作 暴れん坊将軍 二. 唄う絵草紙 【出演】松平健 ほか	⑯	11月 8日(火)16:00	■1等席(2階) 13,000円を 6,500円に 〈各250人〉
		⑰	11月 9日(水)11:00	
		⑱	11月14日(月)11:00	
12月	早乙女太一 特別公演 第1部 天保水滸伝・三浦屋孫次郎 第2部 絵島 ~大奥許されざる恋~ 【出演】早乙女太一 ほか	⑲	12月 2日(金)12:00	■A席(2階) 7,000円を 3,500円に 〈各200人〉
		⑳	12月 2日(金)16:30	
		㉑	12月 3日(土)12:00	
		㉒	12月 4日(日)16:30	



中村種太郎 中村歌昇
改め 改め
四代目 三代目
中村歌昇 中村又五郎

【お知らせ】

皆さまのご要望にお応えして、次のように年間スケジュールを変更し、鑑賞機会を増やします!
 なお、チケット取扱手数料を1枚300円にさせていただきますので、あしからずご了承ください。

〈対象公演月〉

平成24年 2・3・4月
 平成24年 6・7・8月
 平成24年 10・11・12月

〈公演日数〉

各月4公演程度
 各月4公演程度
 各月4公演程度

〈応募締切〉

平成23年12月上旬
 平成24年 4月上旬
 平成24年 8月上旬

名古屋能楽堂 9月定例公演

今年度は能楽がユネスコ無形文化遺産として宣言されてから10周年にあたります。そこで、今年度の定例公演は「能・狂言と“世界”」と題し、海外の情景を描いた作品や、海外で上演された作品、能・狂言にいち早く触れた外国人と関わりの深い作品を取り上げます。9月公演は外国人によって翻訳され、能・狂言が海外に紹介される契機となった作品を取り上げます。

【演目】
 【一部】 能『井筒』(宝生流) シテ 玉井博祐
 狂言『鎌腹』(和泉流) シテ 佐藤友彦
 【二部】 能『鶉飼』(観世流) シテ 清沢一政
 狂言『仁王』(和泉流) シテ 松田高義
 舞囃子『枕慈童』(金剛流) シテ 鈴木昌美

【日時】 9月4日(日) 【一部】10:00～ 【二部】14:00～

【料金】 【一部・二部各】〈指定席〉4,000円
 〈自由席〉一般3,000円、学生2,000円
 ※事業団友の会会員は1割引(前売のみ)
 ※自由席のみ当日500円増

【問い合わせ】 名古屋能楽堂 TEL052-231-0088 FAX052-231-8756



能「井筒」



能「鶉飼」

人形浄瑠璃「文楽」

わが国の伝統的な舞台芸術であり、ユネスコ無形文化遺産である人形浄瑠璃「文楽」、名古屋では年に一度の公演を今年は2日間4公演でお贈りします。

昼の部では、「双蝶々曲輪日記」から「八幡里引窓」を上演します。老母と、前夫との子で幼いときに別れた相撲取の濡髪と孝行者の継子、十次兵衛との間で義に従って生きる、情愛と苦悩の物語です。「新版歌祭文」ではお染、久松の心中事件を題材とした、近松半二の上下二巻の世話物で、上の巻より文楽の代表的演目である「野崎村」を上演します。

夜の部では、臼と杵を担って町を巡り歩く、仲のよい夫婦の団子売。掛け声もにぎやかに団子を作る楽しさ、夫のしっとりとした踊りと妻の愉快的な踊りを描く「団子売」。「摂州合邦辻」では合邦とその娘玉手御前と同年輩の美しい継子、俊徳丸とを軸に恋慕、嫉妬、怒り、後悔、悲しみ、恩愛といった心情が強く迫り来る「合邦住家」をお楽しみいただきます。



新版歌祭文 野崎村の段

【演目】 昼の部：「双蝶々曲輪日記」八幡里引窓の段
 「新版歌祭文」野崎村の段
 夜の部：「団子売」
 「摂州合邦辻」合邦住家の段

【会場】 芸術創造センター

【料金】 〈全指定席・各部とも〉 一階席 4,500円
 二階席 2,500円

※事業団友の会会員は1割引
 ※未就学児の入場は保護者同伴でもご遠慮ください。

【日時】 10月13日(木) 【昼の部】 14:00開演
 【夜の部】 18:30開演
 10月14日(金) 【昼の部】 11:00開演
 【夜の部】 15:30開演

【問い合わせ】 ナディアパークプレイガイド
 TEL052-265-2015

舞台VTR映像専科

ステージの感動を格調高い映像で追求します。



ビデオソフトの企画・制作

有限会社 エーワン・ビデオ・システム
 TEL (052)896-2256 FAX (052)896-4100



ハードシステム部門
 AV機器販売部門(家庭用)
 映像企画・制作部門
 放送関連部門
 機器設備レンタル部門

映像メディアの未来を創る
 生きた情報を発信

TVS 株式会社 東海ビデオシステム
 名古屋市中区上前津二丁目14-15 TEL<052>322-6541(代表) 6562(芸能部)



■ホール舞台音響設備 販売、設計、施工、保守

株式会社エーアンドブイ
 〒464-0846
 名古屋市中区千種区城木町二丁目98
 TEL052(761)5400
 FAX052(761)0909

ファン・デ・ナゴヤ美術展2013 企画募集

若手の企画者・美術家による新しいアートの企画コンペティション

2013年（平成25年）1月に市民ギャラリー矢田で開催する美術展の斬新な企画を募集します。
若手の企画者・美術家の皆さんの「こんな美術展を実現したい」という新しいアイデアを、ふるってご応募ください!

- 募集要項**
- ・市民ギャラリー矢田にて開催する美術展の企画で、芸術文化の新たな発信源となるような内容の斬新なものを募集します。ファイン・アートだけでなく、デザイン、建築などさまざまなジャンルを対象とします。
 - ・美術展の開催期間は平成25年1月8日（火）～20（日）を予定しています。
 - ・使用展示室数は任意（市民ギャラリー矢田（全7室）の1室または2～3室使用、または全室使用など）です。準備の日数は企画採択後に協議のうえ、決定します。
 - ※複数の企画が採択された場合は、共同美術展となります。実行委員会の一員として、お互いにアイデアを出し合いながら、美術展成功に向け協力していただきます。
 - ※会場利用料金と附属設備料金、企画者への助成金（展示室と企画内容により異なるが、1企画につき10万～30万円程度）、ファン・デ・ナゴヤ美術展のチラシ、記録集の経費を名古屋文化振興事業団が負担します。

- 応募資格**
- ・平成24年12月末日現在で満40歳以下の方。*出品作家の年齢制限はありません。
 - ・国籍、居住地の制限はありません。
 - ・企画経験の有無は問いません。

- 応募後の流れ**
- ①書類選考後、一次審査通過の有無を11月末日までに文書でご連絡します。
 - ②一次審査通過者には、12月に開催する二次審査にて企画内容について企画者ご本人にプレゼンテーションを行っていただきます。
 - ③企画採択となった方には、展覧会の企画立案、作家との調整など開催までの業務、チラシ・記録集の原稿作成などを行っていただきます。また企画者として、チラシ等の印刷物にお名前を掲載させていただきます。

- 審査員**
- 倉地比沙支（愛知県立芸術大学准教授）
 - 小林 亮介（名古屋造形大学教授）
 - 高橋 綾子（名古屋芸術大学准教授）
 - 山脇 一夫（金城学院大学教授）（五十音順、敬称略）

- 応募期限**
- 【郵送】平成23年10月27日（木）消印有効
 - 【持参】平成23年10月28日（金）17：00までに市民ギャラリー矢田事務室に持参してください。

- 企画提出先・問い合わせ**
- 市民ギャラリー矢田（〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-10 カルポート東3階）
TEL052-719-0430 FAX052-719-0440
名古屋市文化振興事業団ホームページ <http://www.bunka758.or.jp>
応募用紙は、上記ホームページ内「ファン・デ・ナゴヤ美術展ページ」よりダウンロード可能です。



2011年「黒へ/黒から」展 片山浩氏企画(第2展示室) 撮影:尾野訓大

ファン・デ・ナゴヤ美術展とは

名古屋市市民文化振興事業積立基金（文化基金）を活用して平成10年度から開催されています。
ファン・デ・ナゴヤ美術展という名称は、名古屋から発信する美術展のファンをひとりでも増やそうという意図と、基金の英訳、foundationを重ね合わせて付けられ、多くの人々に親しまれることを目指しています。

文化庁

「平成24年度新進芸術家海外研修制度」のご案内

芸術家、アートマネジメント担当者、評論家などの方を海外に派遣し、研修していただく制度です。
応募を希望される方は、下記までお問い合わせのうえ、9月2日（金）までに必要書類をご提出ください。

募集案内配布・問い合わせ

名古屋市市民経済局文化振興室
TEL052-972-3172

当事業団の募集する事業にお申し込みいただいた場合の個人情報、当該事業に関する事務連絡及び、当事業団の文化事業に関するご案内のみに使用させていただきます。

読者限定
バスで行く見学会!

なごや文化情報：編集委員による解説付き

佐久島アートツアー

なごや文化情報を愛読していただいている方!この号をお読みいただいた方!!に、佐久島アートツアーのご案内です。4～6月号表紙を飾った松岡徹さんの作品が展示しており、アートと島の持つ自然や伝統を結びつけた活動で活性化する“佐久島”を美術部門編集委員・田中由紀子さんの解説で巡ってみませんか?

- 日時 9月13日（火）9:00～18:30（予定）
- 場所 栄・ナディアパーク発着～（バス）～片名港～（船）～佐久島
- 解説 田中由紀子
- 募集人数 なごや文化情報編集委員 電話で先着40名
※定員に達し次第締め切ります。
※受付後、後日詳細を送付します。
- 参加費 お一人様3,700円（交通費・保険代含む）
屋食代別途
- 申込・問合せ ナディアパークプレイガイド
TEL052-265-2015
ツアー主催☆名鉄観光サービス㈱

まの音楽家シリーズコンサート2011

文化小劇場13館で楽しむ♪

各文化小劇場で
13:30開演

市内各区の文化小劇場13館を会場として、地元で活躍する優秀な演奏家たちによる“地域密着型”のコンサートを開催します。
主に平日の午後、お値打ちな料金で質の高い生演奏と演奏家による親しみやすいトークをお楽しみいただきます。ぜひこの機会にお近くの文化小劇場にお出かけください。

9/10(土) 北文化小劇場

B-Style Big Band LIVE!
～親子でラテン音楽に触れてみよう～

出演: B-Style Big Band
(ラテンジャズビッグバンド)
曲目: Fantasy, 名探偵コナンのテーマ、
美女と野獣 他

未就学児入場可



9/14(水) 天白文化小劇場

西 みほ ふれあいコンサート
～日本の歌・ミュージカルナンバー等 お馴染みの曲をご一緒に～

出演: 西 みほ(ソプラノ)
北川美晃(ピアノ)
曲目: 浜辺の歌、
アメイジンググレイス、
私のお気に入り
〔「ザ・サウンド・オブ・
ミュージック」より〕 他



9/24(土) 中川文化小劇場

あおなみコンサート
名フィル・金管の名手たちによる
スペシャルコンサート

出演:
安土真弓(ホルン)
井上 圭(トランペット)
香川慎二(トロンボーン)
原田綾子(ピアノ)



9/28(水) 中村文化小劇場

音楽のひろば
津軽三味線 ふたり響コンサート
～音の響きで心をひとつに～

出演: 津軽三味線 ふたり響
松永義仙(津軽三味線)
橋はこべ(パーカッション)
曲目: 津軽じゃんがら節、
ワルツでよされ、
島唄 他



10/5(水) 港文化小劇場

シノノメソラと世界旅行inみなと

出演: シノノメソラ
〔黒田かなで(ヴァイオリン) 岡林和歌(クラリネット)〕
〔田中博之(パーカッション) 若木郁人(ギター)〕
曲目: 夕暮れ、
チャールダッシュ、
シノノメ行進曲 他



10/10(月祝) 南文化小劇場

マンドリンコンサート
「復興から成長への記憶」
～語りとマンドリンでたどる20年～

出演: アンサンブル木蔭
曲目: リンゴの唄、青い山脈、禁じられた遊び、
上を向いて歩こう、
東京オリンピック
ファンファーレと
行進曲 他

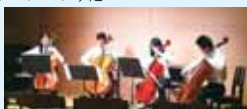


10/12(水) 西文化小劇場

Cello Cafe チェロアンサンブル
コンサート ～癒しの午後～

出演: Cello Cafe
曲目: とんりのトトロ(久石譲)、浜辺の歌(成田為三)、
カノン(J. パッヘルベル) 他

未就学児入場可



10/19(水) 緑文化小劇場

MAR/mart コンサート
～世代を超えて楽しめる打楽器の不思議～

出演: マリンバアート
〔荒川修次、佐久間真理、和泉麻里〕
曲目: 机の音楽(デュ・メイ)、
踊る子猫
(アンダーソン)、
「運動会メドレー」 他

未就学児入場可



10/26(水) 熱田文化小劇場

滝下瑛子ヴァイオリンコンサート
～ピアニスト柳河瀬貴子と奏でる名曲集～

出演: 滝下瑛子(ヴァイオリン)
柳河瀬貴子(ピアノ)
曲目: ヴァイオリン
ソナタ 長調
(フランク)、
無伴奏ヴァイオリン
ソナタ第3番(イザイ) 他



11/2(水) 東文化小劇場

山本馨 ソプラノコンサート

出演: 山本 馨(ソプラノ)
野々山雅子(ピアノ)
曲目: オンブラ・マイフ
(ヘンデル)、
アヴェ・マリア
(マスカーニ)、
ピエ・イエス(フォーレ)
お菓子と娘
(橋本国彦) 他



11/9(水) 千種文化小劇場

枯葉～過ぎ行く秋のひとりごと～

出演: 岡山加代子
浜崎久美子
芹沢抄子
西野さくら(シャンソン)
曲目: 災害復興支援シャンソン
「哀しみの終わり
～さあ今から～」、
バラ色の人生、
パリの空の下 他



11/16(水) 守山文化小劇場

ギタリスト 嶋田達也の世界

～四つの世界
新たな響きとの出会い～
出演: 嶋田達也
(ギター・作曲)、
白樺八重
(朗読・作詞)、
山田実加
(ヴァイオリン)、
女声アンサンブル
森の詩(合唱)



11/30(水) 名東文化小劇場

**杉ちゃんと
ゆかいな仲間達コンサート**

出演: 杉浦哲郎(ピアノ) 他
「杉ちゃん&鉄平」のピアニスト杉浦哲郎が、故郷・名古屋の「まの音楽家」として仲間と共に、おくる、抜群に楽しい午後のコンサート。



料 金 <全自由席> 1,000円 13会場フリーパス 8,000円
※9/10 北、9/24 中川、10/12 西、10/19 緑のみ中学生以下500円
※事業団友の会会員、購入当日使用の一日乗車券・ドニエコきっぷ提示は1割引
(各文化小劇場・ナディアパークプレイガイド取扱のみ。フリーパスは対象外)

協 力 名古屋市交通局

問い合わせ 公益財団法人
名古屋市文化振興事業団
TEL 052-249-9387
FAX 052-249-9386

託児サービスをご利用ください。

未就学児(満1歳以上)対象。
お子様1人あたり
託児料 **500円**

公演1週間前までに要申込。詳しくはお問い合わせください。